

# 12月定例会 公共施設の指定管理、陳情などを審議



12月定例会を11月30日から12月21日まで22日間の会期で開催し、人事案件、補正予算など議案25件、請願1件及び陳情7件を審議しました。

●12月1日、2日に10人の議員が市政について一般質問を行いました。



西尾市民クラブ  
小林 敏秋

神原市政の2期目の総括と今後のまちづくりは

**問** 市長は、自身の実績をどのように評価しているか。

**答** 公共施設再配置事業や保育園・幼稚園の給食費無料化、西尾市観光協会の人材化、医師不足解消のための奨学金制度の創設、園庭・校庭の芝生化などを行なった。

2期目のマニフェストに掲げた事業を遂行できたほか、重点施策である防災・減災事業や企業誘致の推進による生活・産業基盤の強化など、夢や希望のある明るい西尾市の未来に向けた礎づくりを着実に進められたと感じている。

**問** 平成29年6月の市長選挙に出馬する決意は。

**答** 市のトップとして、ふるさと西尾の発展に向け、責任の重さとやりがいを感じている。

今、私がすべきことは「融和」と「協働」の理念のもとに、将来「住んで良かった」と思っていただけの新たなまちづくりを、市民の皆様とともに進め、大きく飛躍することだと思っている。現段階で私から申し上げられることは、

残された7か月の任期の毎日毎日を誠心誠意・全力投球で市政発展のために取り組んでいくことである。

**問** 今後の西尾市のまちづくりに対する市長の考えは。

**答** 今を生きる私たちの使命は、現在よりも安心して暮らせる西尾市を次世代へ引き継ぐことだと思っている。

県立特別支援学校の誘致に向けた取り組み状況は

**問** 建設候補地として、西尾市憩の農園周辺地域を最有力建設候補地として選定したが現状はどうか。

**答** 関係の町内会長及び地権者に対して、特別支援学校の建設誘致について、事業計画の説明会を開催した。一日も早く用地を確保することが大前提であるので、現在、用地の確保に向けて、個々の地権者と交渉を行っている。

**問** 県立特別支援学校をどのような位置づけとして考えているか。

**答** 障害のある子どもたち一人一人のニーズに応じた教育の選択肢が広がるなど、重要な教育政策の一つであると考える。

特別支援学校が、地域のセンター的機能をもった学校として、市内小中学校の特別支援学級との連携を進めることで、本市の特別支援教育の質的向上が図られることを期待している。



至誠クラブ  
中村 健

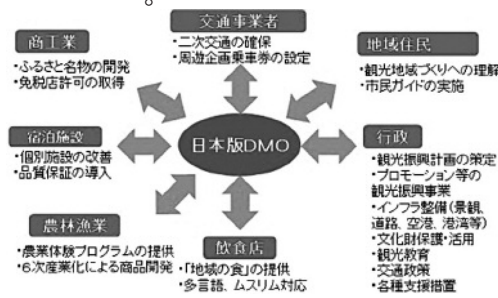
一歩先んじた観光施策を

**問** 西尾市観光協会が、一般社団法人になったことによるメリットは。

**答** 旅行業第2種の免許を取得したことでパッケージツアーを企画販売し、観光客を誘致する収益事業が可能となった。また、社会的信用が高まり、国や県に補助金や助成金を直接申請することが可能となった。

**問** 地域連携DMOや地域DMOへの登録を視野に、取り組みを進めないか。

**答** 地域連携DMOについては、関係市に呼びかけ協議が整えば登録を検討する。地域DMOについても検討していきたい。



情報公開の意義

**問** PFI事業において、サービス対価予定額の総額を計算した根拠となった資料について、市はこれまで非公開情報であると主張してきたが、情報公開審査会において、委託費内訳書の2ページ以降及び各種積算資料にある各施設の細目の金額以外については、開示すべきであった旨の答申が出されている。この答申をどのように受け止めているのか。

**答** 答申に従って進めていくべき責務であると考えている。

**問** 情報公開審査会の答申内容を踏まえ、今後予定されている、給食センターの契約における情報の開示・公開の根拠となる積算内訳について、どうすべきであると考えているのか。

**答** 今後の事業に支障を来さない範囲で、できる限りの情報は開示していきたい。

**問** 情報公開審査会での答申内容を踏まえれば、市の積算内訳に関する情報公開のあり方について、給食センターの契約に関する議案が出てくる段階では、平成28年3月の段階での考え方から修正が図られるものだと思っております。

**答** 答申については、それほど市の考えとギャップがあるとは思っていない。



西政クラブ  
松井晋一郎

地場産業であるアサリ漁業を守るために

**問** アサリの漁獲高全国一を誇る西尾市として、アサリ漁業への継続的な支援が必要と考える。市の姿勢はどのようか。

**答** ウミグモの成体を直接捕獲駆除することが、今できる方法と考えている。この事業を本年度から継続して5年間、県と連携して実施していくなど、アサリ漁業への支援を行っていく。また、アサリを増やす取り組みと、アサリの減少を食い止める取り組みについても、市単独事業として新たに実施していく。

共生のまちづくりを目指して

**問** 相談支援事業所および相談支援専門員の数が十分とは言えない。今後の方針は。

**答** 事業所の数や人員配置については、各事業所の判断によるものであり、直接市が関与するところではないが、相談支援の委託部分については事業者の要望を踏まえて調整していきたい。

**問** 県立特別支援学校の建設を控え、教育機関、医療機関、その他関係する

専門機関との情報共有および連携体制の構築が不可欠と考える。現在の状況と今後の方向性はどのようか。

**答** 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の適切な就学先の決定に向けて、西尾市就学支援委員会を設置している。平成28年度については、年間4回の委員会を開催し、関係機関と連携して情報を共有し、就学先の審議をしている。来年度も同様に、就学支援委員会を開催し関係機関との連携を図っていく。

**問** 福祉施設からの一般就労移行の人数の推移と就労移行先はどのようか。

**答** 平成28年10月末現在で自立支援給付受給者のうち13人、27年度は9人、26年度は17人の移行。就労先は主に市内の事業所で、障害者の枠での雇用となっている。

**問** 社会福祉法人などが新たな事業を始める際に、支援策や相談窓口はどのようか。

**答** 一般の方を対象に、西尾信用金庫、西尾商工会議所、一色町商工会、西尾みなみ商工会及び西尾市の5者が連携協定を締結し、創業者に対する支援を行っている。





西尾市民クラブ  
鈴木 正章

市民生活の安全対策について

**問** 道路地下の空洞化による陥没事故防止の取り組みはどのようなか。

**答** 市による定期パトロールや、町内会・通行者の通報で速やかな対応に努めている。



**問** 道路のラインや横断歩道等のラインメンテナンスの状況はどのようなか。

**答** 工事での復旧及び町内会要望での復旧が主なものである。

**問** カーブミラーの清掃、点検の現状はどのようなか。

**答** 新設・建替及び改修は、町内会要望で、向き直し、破損の対応は、市民の連絡で速やかな対応に努めている。

住み慣れた地域で安心して暮らすために

**問** 公共交通空白地に対する、新たな交通体系の調査研究の考えは。

**答** これからは買い物、医療等日常生活に密着した交通対策が必要と認識している。全国事例を調査・研究し、次

期公共交通計画策定に備える。

**問** 厚木市の24時間無料の健康相談（健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスの相談・医療機関情報提供）事業を行わないか。

**答** 厚木市の取り組みを実施する考えはないが、先進市の成果等は今後調査する。

学校運営の方針について

**問** 学校プールの施設管理方針はどのようなか。

**答** 学校プールは耐用年数経過時点や利用が困難になった時点で、民間プール活用に切り替える。

**問** 民間プール利用の学校数は。

**答** 佐久島小学校を除くすべての小学校が対象である。

**問** 現行の給食で対応しているアレルギー品目と、今後の目標は。

**答** 自校方式では乳・卵、センター方式ではなし。果物を除くデザートは両方式とも代替食の対応である。今後の目標は定めていない。

**問** 肢体不自由の子どもに対する設備面や体制面の現状の取り組みは。

**答** 個々の児童生徒の実情に応じた設備面、体制面の対応を考える。医療的ケアが必要な場合、体制整備に努める。



西尾市民クラブ  
本郷 照代

民生委員・児童委員欠員への対策は

**問** 民生委員・児童委員のなり手がなく、欠員状態が続いているということに対して、どのように分析し対策を講じてきたか。

**答** 原因は、相談業務の負担が増していることが挙げられる。未決定地区には、校区代表町内会長や該当町内会長へ活動を具体的に説明し、地区での活動を継続していただけるよう推薦依頼をしている。

鉄道駅周辺に駐車場整備を

**問** 西尾市のパーク＆ライドの利用実態はどのようなか。

**答** 詳細は把握していないが、名鉄西尾線の駅周辺には、民間の定期駐車場が多数あることから、これらの駅で名鉄に乗り継ぐパーク＆ライドが通勤・通学者を中心に利用されていると考えている。

**問** パーク＆ライドの普及拡大への課題をどのように捉えているか。

**答** ハード面では、駅周辺の駐車場整備。民間の定期駐車場が増加しているが、時間貸しの駐車場は少ない。ソフト面では、普及啓発だ。西尾市では多

くの家庭が自家用車を保有し、遠方へも車で移動する傾向が強いことから、パーク＆ライド推進の難しさがある。

資源回収率向上に向けて

**問** コンテナ方式による収集への統一に向けた調査・検討を進めているとのことだが、これまでの進捗状況は。

**答** 現在、旧西尾地区の資源ステーションでの小型家電の分別収集を検討している。次に金属製品と埋め立てごみをコンテナに収集できれば、燃えないごみの収集方式は市内統一が可能になると考えている。市街地では設置場所の確保、市民の理解など問題があるが、収集方法の統一を引き続き検討したい。

**問** 大府市の中古買取業者といくつかの自治体とが連携して携帯電話やパソコンの回収に力を入れている。西尾市も連携の輪に加わらないか。

**答** 回収した希少金属からメダルを作ること、東京オリンピック組織委員会も提唱しており、環境意識の向上、資源の有効活用、面から、市としても連携について検討していく。





西尾市民クラブ  
永山 英人

**ふるさと応援寄附金の現状と課題**

**問** 平成28年10月までのふるさと応援寄附金の申出件数と金額は、市内・市外別、合計に区分するとどのようか。

**答** 27年度合計2037件約3131万円、市内268件の約954万円、市外1769件の約2176万円。28年10月末現在、合計約1697件約2823万円で、市内152件の約379万円、市外1545件の約2443万円である。

**問** 居住地の住民税が軽減されるふるさと応援寄附金の西尾市の住民税収への影響額と地方交付税の補てん額は。

**答** 28年度市民税への影響額は、27年1月から12月までの寄附金が税額控除額となり、平成28年6月の当初賦課時点での総額は約5810万円の減収。また、補てん額については、税額の75%が地方交付税の基準財政収入額に算入される。

**問** ふるさと応援寄附金は、地場産業の活性化と独自の財源確保として効果は出ているか。

**答** 本市にとっては、一助となっていると考えている。一方、27年度決算で

は、市民が他市のふるさと応援寄附金制度を利用するなどにより、市民税減収額が市の応援寄附金事業の赤字額を超過している。高額納税者ほど返礼品による恩恵を受けやすく、税の累進性とは一致しない。人口の多い都市部では実質的な歳入減につながる可能性があるなど問題点があると認識している。

**まだ聞こえない東幡豆町内の防災行政無線戸別受信機の対応状況は**

**問** 9月定例会の一般質問で、聞こえない受信機の対応状況を確認したが、現在も「まだ聞こえない、そのままにしてある」という声を聞かすが、先の回答から現在までの取り替えやアンテナ工事の実績と累計、残る対応計画はどのようか。

**答** 9月定例会以降で工事完了件数は77件、累計で528件、この間に申請件数は、62件増え、全体(旧幡豆町)で665件となり、現在残る件数は137件。残りの対応は、今まで市外の電気工事業者1社で対応していたが、今後は地元6社を含め本年度内に設置できるように進めていく。

**問** 今も、防災無線が聞こえない世帯があることを、市長はどのように認識しているか。

**答** 防災行政無線は、災害時の情報伝達手段として非常に大切なものであるので、早急に対応していく。



公明党西尾市議員  
大河内博之

**福祉避難所の充実に向けて**

**問** 福祉避難所として37施設のうち、市の施設は1か所のみとなっている点について、どのように考えているか。

**答** 福祉避難所として活用するには、手すりやスロープ、障害者用トイレの設置などのバリアフリー化、冷暖房設置など各種の設備が整っていることが必要となる。市の施設で、これらの要件を満たし、かつ専門的な知識を有する職員が対応できる施設として、看護専門学校1か所を指定している。

**問** 受け入れ対象者をどのように定めているか。また、周知はどのようか。

**答** 受け入れ対象者は、避難所での生活を続けることが困難な方を想定している。周知は現在、市のホームページに施設の一覧などを掲載し公開しているが、今後は、受け入れ対象者及びその家族に対する周知も含めて検討する。

**問** 福祉避難所設置運営マニュアルの作成も含めた全体像はいつまでにみえるか。

**答** 遅くとも平成29年度末には完成したい。

**問** 防災監として、今までの質問と答弁をきいてどのように感じたか。また、今後どのように取り組んでいくか。

**答** 解決すべき様々な問題点が多岐にわたり山積している。そして、どれも難しい対応が求められるものばかりである。災害はいつ発生するかわからないので、スピード感をもって、福祉避難所設置運営マニュアルを完成させ、要配慮者が安心できる体制の整備を図る。

**水道管の更新は**

**問** 水道管の老朽化率と今後の更新スケジュールはどのようか。

**答** 平成27年度末で18・3%である。更新スケジュールは、毎年布設年度の古い水道管から順次更新し、耐与年数60年前には更新できるように進める。

**問** 耐震化の進捗状況と今後のスケジュールはどのようか。

**答** 平成27年度末の耐震化率は11・2%である。今後のスケジュールは、地震時に重要な拠点となる指定避難所や医療機関へ配水する水道管を「重要管路」と位置づけ、平成40年度を完了目標に耐震化を進める。

**問** 水道料金の改定を考えているか。

**答** 現在のところ水道料金を値上げする考えはない。



公明党西尾市議員  
大塚久美子

人にやさしい福祉のまちづくり

**問** 発達障がい児を持つ家族に対し、どのような対応をしているか。

**答** 乳幼児健康診査の際、子どもの発達などの相談があれば医師をはじめ、保健師、臨床心理士などの専門職が対応している。

**問** 福祉車両の貸出制度の予約状況やネットでわかりやすく確認できないか。

**答** 現在、予約状況の確認は電話でしかできないため、インターネットで確認できるように社会福祉協議会に依頼している。



**問** 高齢者だけでなく子育て支援や生活保護など、いろいろな部署が絡み合っているため、市民サービスの向上を目指すし、市に福祉全般にわたる総合的な相談窓口を設置しないか。

**答** 高齢者、障がい者、子育てなど福

祉全般にわたる総合的な総合窓口の設置については必要性が認識されているため、調査研究していく。

本市における恒久的な公共交通サービスの構築に向けて

**問** 名鉄西尾・蒲郡線の存続について「次期更新に向けて蒲郡市とともに運行方式を含めた研究を行い、その際には優良先進事例など広く情報収集に努め、数値的な分析も行っていく」と答弁されたが、進捗状況はどのようなか。

**答** 蒲郡市の鉄道対策事業の所管替えから、双方の担当者が共通認識に立ちあわせて先進事例を情報収集し、研究を始めた。今後それぞれの特徴を分析し、数値的な比較も可能な限り行う。

**問** 交通弱者対策や、公共交通の整備が必要と考えるが、市長がいつも言う「全員野球」というのは、市のそれぞれの所管部署ができることを協力して事業を進めることではないか。

**答** これからは行政ができることは限られるため、市民と協働してまちづくりを進めていくことが一番必要である。名鉄にしがま線利用者を増やすことが最も大事なことで、市民全員の方に、使ってほしい。そして、予算は限られているので、もっと歩いてほしい。これが健康のもと。日本一元気なまちにするには、まず歩いてほしいと、市民の皆さんに訴えてもらいたい。



無所属  
鈴木 規子

災害時、備蓄品と管理体制の増強を

**問** 県の想定では避難者数7万人と膨大な数となった。備蓄は十分か。

**答** 現在の11万食を21万食に増やす。

**問** 膨大な数量では管理も難しくなる。物流業者と協定を結ぶべきではないか。

**答** 備蓄や救済物資の仕分けは荷捌き経験のない職員では困難を伴う。運送業者と提携に向けて調整をしていく。

避難所にマンホールトイレ導入を

**問** 市の業務継続計画では「3日以内に避難所の仮設トイレの汲取りを行う」とされているが、実際には仮設トイレの搬入そのものが難しいのではないか。

**答** 広域の甚大な被災の場合は、仮設トイレを何日で避難所に届けられるか詰めた答えはできない。検討したい。

**問** 東日本大震災はじめ各被災地の避難所では、回収できない糞尿が山積みで衛生環境の悪化が課題となってきた。市にはバキュームカーがないがどうか。

**答** 市の所有がなく汲取りは協定業者に依頼しているが、し尿処理場や業者も被災した時は、全国に応援要請する。

**問** 内閣府はじめ国土交通省も、本年4月に、下水道管を活用したマンホールトイレの設置を推奨するガイドラインを示し、国として急いで整備せよとの指示だが、市は承知しているか。

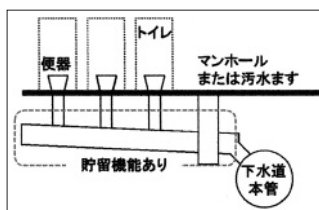
**答** 承知している。避難者4万3000人の想定では860基が必要となり、現在は簡易式の639にとどまる。

**問** 東松島市では、東日本大震災前にマンホールトイレを配備。職員が動かないなか、住民たちだけで被災当日に設置でき、悪臭もなく、バリアフリーで高齢者にも好評だったという。本市ではマンホールトイレの設置に必要な下水道管路は現在整備中で、平成32年度までに完了とときがそうか。

**答** 32年度までに完了の計画である。

**問** 長岡京市では、5か年計画で14の小中学校に204基を整備している。「仮設トイレの搬入」も「汲取り」も不要なマンホールトイレを導入しないか。国は、高い補助率の財政支援策をつけている。防災監はどう考えるか。

**答** 確かにガイドラインでは、補助率2分の1を社会資本整備交付金の防災・安全の基幹事業として支援するところ。皆さんに満足いただける形で逐次、整備を進めていきたい。





日本共産党西尾市議員  
前田 修

子どもの貧困対策・奨学金制度  
などについて

**問** 「子どもの貧困」が社会問題になっている。就学援助制度の支給基準の引き上げや利用しやすい手続きへと改善しないか。

**答** 近隣市町の状況をみて、引き上げを検討したい。学校だけでなく教育委員会でも受け付けることや、口座振込みにすることも検討したい。

**問** 私立高等学校に通う子どもの授業料補助を増額しないか。

**答** 現在、一律に交付しているが、低所得者への補助増額について考えたい。

**問** 奨学金制度を実施すべきだと思いが。

**答** 近隣市の制度を参考にし、前向きに検討していく。

PFI西尾市方式は違法との  
住民監査請求について

**問** 西尾市のモニタリングや個別外部監査制度について、特別目的会社は受け入れることを文書で確認しているか。

**答** 業者は了解をしていると思うが、文章で交わしてはいない。

**問** 全国のPFIでは手抜き工事が問題となった。現場への自由な立ち入り監視、その場で指導ができるか。

**答** 監視はできる。指導・是正は直接でなく特別目的会社に求めることになる。

**問** 直接、請け負う建設業者に指導できないからPFIは問題だ。建設業の許可を有しない特別目的会社が建設業務を請け負うことは違法ではないのか。

**答** 市は「事業権を付与」するのであって、建設業務の請負を契約したのではない。

**問** アドバイザーの言うがままで、とんでもない曲解をしている。法解釈について、国に確認し文章化しているか。

**答** 国交省や内閣府にも確認しながら進めている。電話での確認であり、文章としての記録はない。

**問** 全国初の西尾市方式は「買い取り」という業務をSPCが行うことになっているが、PFI法では行っていないか。

**答** 法に書いてないからといって排除したとは考えていない。アドバイザーが国に確認をしている。

**問** 法で許されていないこともOKなら何をやってもいいことになる。アドバイザーは国の誰に確認したのか。

**答** そういったもの（報告書）はない。

常任委員会・特別委員会 行政視察報告

**【視察目的】** 行政視察は、西尾市政の抱える課題や今後取り組むべき施策について、先進地の事例や状況を実際に見聞して調査し、西尾市政への反映を目指して実施しています。

◎委員長 ○副委員長

議会改革特別委員会・議会運営委員会  
（7月13日～15日）

- ◎鈴木正章 ○石川伸一 山田慶勝  
新家喜志男 工藤光雄 小林敏秋  
高野邦良 鈴木武広 前田 修  
松井晋一郎 渡辺信行 神谷雅章  
大塚久美子

【視察地・テーマ】

- 神奈川県寒川町 タブレット導入の経緯と活用状況について  
栃木県大田原市 タブレット導入の経緯と活用状況について  
神奈川県横須賀市 予算決算常任委員会について

【内容】

寒川町では、平成26年1月よりペーパーレス化を目指して調査、実証を行い、平成27年2月議会より議会・執行部双方で、クラウドサーバーを活用した文書共有システムでタブレット端末を導入し、ペーパーレス化を目指す。導入後はタブレット端末と紙資料の

併用で会議を進めているが、年内に議会会議の完全ペーパーレス化を目指す。

大田原市では、平成25年9月専門委員会にて「議会のICT化」の検討を開始した。平成26年9月定例会に理事者側より議場でのタブレット端末使用の申し出があり、これを受け、議会も平成26年12月定例会よりタブレット端末を導入した。

会議資料、スケジュール管理、災害時の写真送付及び個人データ管理に活用している。理事者側とは導入ソフトが異なり、互換性は無い。

横須賀市では、予算

審査と決算審査を総合的、一般的な審査を行なうため、委員会設置の条例を平成23年5月に制定した。

改定前は西尾市と同じく、予算は常任委員会に分割付託、決算は特別委員会が一括審査であった。新たな仕組みは、予算決算委員会は全議員が構成員である。審査は全体会でまず検討し、委員会の別の分科会で審査し、最後に全体会で総括討議する仕組みである。



厚生委員会(10月24日～26日)

◎渡辺信行 ○高野邦良  
新家喜志男 小林敏秋  
颯田栄作 神谷雅章 大河内博之

〔視察地・テーマ〕

千葉県野田市 生活困窮者自立支援促進事業について  
千葉県佐倉市 「認知症にやさしい佐倉」推進事業について  
東京都立川市 地域包括ケアシステム  
の構築について

〔内容〕

野田市では、生活困窮者自立支援促進事業について話を伺いました。任意事業である生活困窮者就労準備支援事業、生活困窮者一時生活支援事業、生活困窮状態にある子どもたちの学習支援事業など本市でも取り入れるべきものと考え、ていきたくていきたいと思います。



佐倉市では、認知症の取り組みとして「さくらパス」「オレンジカフェ」(認知症カフェ)「認知症サポーター養成講座」「物忘れ相談」や「認知症声かけ訓練」等参考になるものは本市でも取り入れていただきたいと考えます。



佐倉市の全体構想図

立川市では地域包括ケアシステムの構築について話を伺いました。立川市主導で構築し、運営は地域包括支援センター運営協議会で3層構造(地域ケア会議、小地域ケア会議、個別ケア会議)の地域ケア会議の体制で行っている点は参考になりました。西尾市も検討していただきたいと考えます。

文教委員会(10月25日～27日)

◎松井晋一郎 ○永山英人  
稲垣正明 中村眞一  
稲垣一夫 大塚久美子 中村 健

〔視察地・テーマ〕

佐賀県伊万里市 伊万里市民図書館について  
佐賀県武雄市 武雄市図書館について  
福岡県福岡市 学校給食センターについて

〔内容〕

伊万里市では、図書館の建設・その後の運営状況等についてお話を伺いました。設計段階から行政と共に市民の皆さんが関わり、平成7年の開館からは、市民ボランティアとして図書館の運営支援活動を継続されています。自動車図書館による市内巡回や《滞在型の図書館》として、館内での居場所づくりについても積極的な取り組みをされており、本市での同事業の参考となりました。



武雄市では、武雄市図書館・歴史資料館に伺いました。館内では、通常の本の貸出しの他に、飲み物を購入でき、また、書店エリアでの購入もできます。更に、全国への本の貸し出しも行っており、新たな図書館の在り方について本市でも検討していただきたいと考えます。

福岡市では、福岡市立第1給食センターの視察に伺いました。各エリアの明確な区分けから、衛生面をはじめ、各アレルギー対応、特別支援学校に対応した二次加工食の提供、また、食育研修など、調理管理システム・研修体制が構築され、築かれています。本市でも給食センター建設計画があり、参考にしたいと考えます。



経済建設委員会(11月8日～10日)

◎松崎隆治 ○長谷川敏廣

岡田隆司 鈴木規子  
神谷庄二 高須一弘 鈴木正章

【視察地・テーマ】

福岡県久留米市 宮ノ陣クリーンセンターの建設について  
佐賀県鳥栖市 企業誘致戦略について  
福岡県飯塚市 立地適正化計画（コンパクトシティ）について

【内容】

久留米市では、現在計画されている広域での新たなクリーンセンター建設に向けて、参考にさせていただくべく本年度より運転が開始された宮ノ陣クリーンセンターに伺いました。焼却で発生する熱エネルギーのほか、太陽光エネルギー等も積極的に利用されており、余剰電力は年間1億4千万円を見込んでおられ、歳入増に



も貢献しています。全体的に来場者が体験し学習できる施設になっていました。

鳥栖市では、積極的に行われている

企業誘致について伺いました。九州のハブ機能「物流拠点都市」へと、保税蔵設置場所の数は内陸部で全国トップの25箇所、流通業務団地（グリーン・ロジスティス・パーク）の分譲、環境への負荷が少ない鳥栖貨物ターミナル駅の開業、アジアの玄関口「福岡市」等との広域連携（ブランドクロス広域連合）の積極的な取り組みにも努力をされています。



飯塚市では、西尾市でも本年度から

計画に向けて進められている立地適正化計画について伺いました。拠点連携型都市づくりの一環として、中心市街地を中心に各地域に拠点を置き、中心拠点と地域拠点の連携を図り、持続可能な都市を目指しています。

企画総務委員会(11月9日～11日)

◎本郷照代 ○石川伸一

山田慶勝 田中 弘  
工藤光雄 鈴木武広 前田 修

【視察地・テーマ】

福岡県行橋市 図書館等複合施設整備事業について  
福岡県北九州市 北九州市立思永中学校整備PFI事業について  
大阪府岸和田市 人材育成型の人事考課制度について

【内容】

行橋市では、中心市街地活性化を推進する方策として、旧結婚式場跡地に図書館を整備、賑わい創出の取り組みについて伺いました。設計から建設、管理・運営まで一括して民間に委託するDBO方式を基本構想の段階では検討していたが、PFI法という確かな法の裏付けが必要との再検討の結果、BTO方式の採用とな



ったとのこと。PFI事業に取り組む自治体共通の課題、すなわち周知の徹底、PFIの必要性確認など議会の役割も大きいとの認識を新たにしました。

北九州市では、老朽化した思永中学

校のプールを民間企業が整備・運営、市民にも開放する取り組みについて伺いました。西尾市でも寺津小・中学校プールにて同様の取り組みを計画中です。今後の学校プールのあり方に関しては、老朽化したら解体して学童ルームに、またプールは市で一元化すべきとの回答でした。維持管理の部署にも技術担当を置くべき、月1回の定例会議には、建築技師が同席する必要あり、など参考となる話が多々伺え、本市も生かしていくべきと思いました。

岸和田市では、人材育成を目的に

した人事評価制度の導入、昇任・配置管理の改革と総合的人事制度の構築などについて伺ってきました。職員力とマネジメントの2つの要素を結集することで組織力を高めることが人事管理の最大の目的で、人事評価はそのための1つの手段であることをしっかりと認識することが必要、との言葉には議員一同深く頷きました。評価の違いに対しては「気づき」を提供し、能力開発支援へと導くとのことでした。



## ■12月定例会で審議され、可決した議案等

☆ 人権擁護委員に、石川明美氏を任命することに同意しました。

★西尾市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について
★西尾市民げんきプラザの設置及び管理に関する条例の制定について
★西尾市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★市道路線の認定について
★西尾市佐久島クラインガルテンの指定管理者の指定について
★西尾勤労会館の指定管理者の指定について
★吉良恵比寿海岸駐車場の指定管理者の指定について
★古川緑地（岡ノ山遊ばっ茶広場）の指定管理者の指定について
★西尾市ふれあい広場の指定管理者の指定について
★個別外部監査契約の締結について
★平成28年度西尾市一般会計補正予算（第5号）
★平成28年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
★平成28年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
★平成28年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）
★平成28年度西尾市水道事業会計補正予算（第1号）
★西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★平成28年度西尾市一般会計補正予算（第6号）
★平成28年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
★平成28年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
★平成28年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
★平成28年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）
★地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書
★西尾市一色地区の産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書

## ■12月定例会に出された請願書

★西尾市一色地区の産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書の採択を求める請願書	採 択
---	-----

## ■12月定例会に出された陳情書

★新たな産業廃棄物最終処分場の建設反対と跡地問題の解決を求める要望書	採 択
★一色地区内の産業・町の活性化に対する支援体制の強化を求める陳情書	趣旨採択
★国に対して「保育士等の賃金と配置基準の改善を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採 択
★地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情書	不採 択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採 択
★社会保障の施策拡充についての陳情書（文教委員会）	不採 択
★社会保障の施策拡充についての陳情書（企画総務委員会）	不採 択

議会テレビ中継のお知らせ(予定)  
放送日  
2月27日(月) 2月23日施政方針演説  
3月1日(水) 2月27日 代表質問  
3月2日(木) 2月28日 一般質問  
3月6日(月) 3月1日 一般質問  
3月10日(金) 3月2日 一般質問  
ケーブルテレビ「キャッチ」  
デジタル 106CHで放映  
【放送開始予定時間】  
いずれも18時からです。  
インターネットで議会を見てみよう  
西尾市議会ホームページから  
アクセスできます。  
ぜひご覧ください。

3月定例会市議会  
開催予定のお知らせ  
2月23日(木) 本会議(上程渡り質疑)  
2月27日(月) 本会議(代表質問)  
2月28日(火) 本会議(一般質問)  
3月1日(水) 本会議(一般質問)  
3月2日(木) 本会議(一般質問)  
3月6日(月) 本会議(当初予算上程)  
3月7日(火) 厚生委員会  
3月9日(木) 文教委員会  
3月10日(金) 経済建設委員会  
3月13日(月) 企画総務委員会  
3月14日(火) 議会改革特別委員会  
3月23日(木) 本会議  
開会時間は午前10時です。  
\* 本会議は議場  
\* 委員会は第1委員会室  
ぜひ傍聴にお越しください。

## ■賛否の分かれた議案

12月定例会へ提出された議案、請願、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

「○」…賛成（採択） 「×」…反対（不採択） 「趣旨」…趣旨採択

議案名	議決結果	会派・議員名、表決態度																										
		西尾市民クラブ										西政クラブ				至誠クラブ				公明党		無所属						
		神谷庄二	小林敏秋	稲垣正明	颯田栄作	高野邦良	鈴木正章	稲垣一夫	鈴木武広	石川伸一	永山英人	本郷照代	松崎隆治	岡田隆司	田中弘	工藤光雄	長谷川敏廣	松井晋一郎	渡辺信行	山田慶勝	新家喜志男	中村眞一	高須一弘	神谷雅章	中村健	大河内博之	大塚久美子	前田修
地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
国に対して「保育士等の賃金と配置基準の改善を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
社会保障の施策拡充についての陳情書（文教委員会）	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
西尾市ふれあい広場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
新たな産業廃棄物最終処分場の建設反対と跡地問題の解決を求める要望書	採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	趣旨	趣旨	○	趣旨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一色地区内の産業・町の活性化に対する支援体制の強化を求める陳情書	趣旨採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	趣旨	趣旨	○	趣旨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西尾勤労会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会保障の施策拡充についての陳情書（企画総務委員会）	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
個別外部監査契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

### 編集室

私たちがいただいた4年の任期も残りわずかです。

議会だよりについては、議会活動をお伝えする大事な広報媒体であるため、内容面の充実と見やすさの観点から幾度か紙面の改善をしてきましたが、これまで以上に市政を身近に感じていただけたらと思います。

選挙で選んでいただいた議員は、市民の代表という形で活動をさせていただきますが、主役は他ならぬ市民のみなさん一人ひとりです。

西尾市政について共に考えていくべく、「伝える」こと以上に「伝える」ことを重視した広報活動を心がけ、今後とも市政の「見える化」に努めていきたいと考えています。

#### 議会だより編集委員

- ◎稲垣 一夫 ○大河内博之
- 中村 健 松崎 隆治
- 本郷 照代 松井晋一郎
- 前田 修 鈴木 正章

#### 西尾市議会議会だより編集委員会

電話 65-2182  
FAX 54-0311

■議場見学をしませんか？町内会や老人会の行事、ご家族、ご友人同士でお誘い合わせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局へ電話（Tel.65-2182）でお問い合わせください。